

第四期 帯広市 子どもの読書活動推進計画

令和2年度～令和6年度



帯広市図書館
シンボルマーク

発行 令和2年3月
編集 帯広市教育委員会
(生涯学習部 図書館)

〒080-0012

北海道帯広市西2条南14丁目3

電話番号：0155-22-4700

FAX番号：0155-22-4701

E-mail：library@city.obihiko.hokkaido.jp



この計画は、「自主的な読書活動を推進することにより、子どもの豊かな心を育成します」を基本理念とし、家庭、地域、学校などの関係機関等が連携・協力し、帯広市の子どもたちの自主的な読書活動の推進に取り組むための方向を示すものです。

帯広市教育委員会

基本方針

①子どもの読書活動の機会の提供

家庭、地域、学校など、それぞれが担う役割を果たせるよう、横断的に相互の連携・協力をはかり、発達段階ごとの特徴を踏まえながら、子どもの読書活動の機会の提供に取り組みます。

②子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

読書が身近なものとなるよう、図書館や学校図書館の図書館資料の充実をはかるとともに、関係機関、民間団体等が緊密に連携・協力しながら、子どもの読書活動を推進するための読書環境整備に取り組みます。

今のおびひろっ子の読書の状況って？

第三期計画（平成27年度～令和元年度）における成果と課題

【成果】

- 全国に比べて帯広の子どもは「読書が好き」な子が多い。
- 乳幼児向けのおはなし会の参加者数が安定的に推移。
- 小学校では、ぶっくーる便の利用が増加。

【課題】

- 学校段階がすすむにつれて、読書離れもすすむ傾向がある。
- 子どもの読書習慣を形成するには、家族や家庭環境の影響が大きい。読書の大切さを保護者に伝えることが必要。

発達段階ごとの特徴を踏まえた取り組みにより、自主的に読書に親しむ習慣が身に付けられるよう子どもの読書活動を推進します。



- おはなし会
- 絵本との出会い事業
- 発達段階に応じたブックリスト



- おはなし会
- 乳幼児健診での読書活動支援
- 子育て応援バック



- おはなし会
- 家読にチャレンジ!
- とかちジュニア文芸
- ぶっくーる便



- 家読にチャレンジ!
- とかちジュニア文芸
- TEEN'Sの発行
- 職場体験



- 高校生のおすすめ図書の展示
- 高校生によるおはなし会
- TEEN'Sの発行
- 職場体験

赤ちゃん 0歳

幼児

小学生

中学生

高校生

おおむね 18歳

第四期計画からの新しい取り組みをピックアップ!

●保護者への理解の促進●

子どもの読書習慣の形成や定着については、保護者の読書習慣や意識が重要であると考えられることから、家読（うちどく）の取り組みを通して、**保護者に啓発のためのチラシを作成し配布**します。

●年代別体験型事業の実施●

小学生を対象に、図書館司書がテーマに沿って本を紹介する「**ブックトーク**」を開催します。中・高校生を対象に、おはなし会などのイベントに実施する側として参加してもらう**体験型事業**を実施します。

取組目標

取組目標	基準年度の状況 (令和元年度)	取組目標 (令和6年度)
① 読書が好きな子どもの割合	小学生 74.5% 中学生 71.6%	いずれも増加
② 平日1日当たり10分以上読書をする子どもの割合	小学生 63.6% 中学生 51.0%	いずれも増加
③ 1ヶ月に1冊も本を読まない子どもの割合	小学生 17.7% 中学生 20.9%	いずれも減少

計画の詳しい内容は、こちらをご覧ください ⇒



ポチッ!

